



みんなの
なぐさ
はば

最 近マフラーを編んでいます。はやく長くなれ!

(安井彩花ちゃん・小五) だれかにプレゼントするため編んでいるのかな?

カ ラスでトランプがはやってい
ます。ドタバタが一番のにか

(高橋晴香くん・小六) ドタバタってどうやるんだっけ
こんどはやりかたおしえて

カ ぜで六年生を送る会にでれな
かったよー!六年生のみなさん
いままでありがとうございました
(神馬紗知ちゃん・小二)

さんねんだったね。今度は三
年生になるから下の子のめん
どうをみてあげようね



みんなからの
お便りまってます
身近なゆびも
忘れないうでぬ!



チャレンジ! 子どもクイズ

みんなはミールって知っているかな? 15年前に打ち上げられたロシアの宇宙ステーション。化学実験や観測なんかを行っていたんだよ。でも、古くなって3月23日宇宙から太平洋に捨てられたんだよ。これには日本人の秋山さんも乗ったんだよ。今月は宇宙にあるものつきにちなんだぞぞぞだよ。

【問題】
お正月になるとベッタンベッタン音をたてるつきってどんなつき?
木が大すきで木からはなれないつきってどんなつき?
顔にある、悪いとこわがられるつきってどんなつき?

《送り先》 ニツ井町字上台1-1
役場内子どもクイズ係

ハガキにこたえのほか、住所、名前、学校名、学年、性別、親の名前と「身近な話題」も書いてね。

全問正解者には、抽選で図書券をプレゼント。しめきりは4月18日です。たくさん応募をお待ちしてま〜す。先月号のこたえ『汽車 救急車 電車』でした。たくさん応募ありがとう。正解者は2名でした。図書券をお送りします。
安井彩花・田ノ沢 神馬紗知・三千苅

拝啓 ふるさと様

東京ニツ井会会員から
ふるさとへの熱いメッセージ



移動教室で八ヶ岳へいった時(右)

小山 恵利華さん
(荷上場出身)
東京都調布市在住

◀70▶

ふたついのみなさん、荷上場のおじいさん、おばあさん元気ですが。私たちも元気です。冬が終わりもう春ですね。東京はだんだんと暖かくなってきて、桜が咲き始めました。日曜日には、近くの公園でみんなが花見をします。ふたついはまだ雪が残っているでしょうね。私は三歳の時に東京にきました。お父さんが、東京で仕事をするようになったからです。もう八年になりました。東京の言葉もうまく話しています。秋田べんはすぐ出てきません。友だちもたくさんできて楽しいです。今年の冬はスキーをしませんでした。来年はふたついに帰ってスキーをしたいです。みなさん、体に気をつけてがんばってください。 さようなら

くつろぎライブラリー 公民館図書室

●一冊の本● 『時宗 巻の巻 乱世』
高橋克彦・著
NHK大河ドラマ「北条時宗」の原作で、連星 震星の巻へと続く。(冒頭部分より) 兄であり、北条得宗家の棟梁でもあり、なによりも今の幕府の執権の座にある経時から深夜の呼び出しを受けて時頼は激しい胸騒ぎを覚えた。寛元4年、3月23日のことである。就いたばかりの床に半身を起こして時頼は一瞬呼吸を置いた。だが胸騒ぎはさらに強まって行く。「確かに兄者からの呼び出しか?」違うだろう、と思いつつ時頼は板戸を挟んで廊下に平伏している郎党に質した。真実は経時の館からの危篤を知らせる呼び出しであるはずだ...



【今月の新着図書】
時宗 乱世 連星 = 高橋克彦 日本語の乱れ = 清水義範 魂 = 柳美里 ガンジス河でバタフライ = たかひてる こ 田んぼの隣りで本づくり = あんぱいこう ソング・オブ・サンデー = 堂藤志津子 菅江真澄みちのく漂流 = 簾内敬司 瑠璃色の石 = 津村節子 日本の食生活全集 = 農文協編 やさしさ病棟 = 徳永進 血脈①・② = 佐藤愛子 女性のためのストーカー・暴力「救急相談室」 = 山田幸一 話を聞かない男・地図が読めない女 = アラン・ピース

開館時間 火曜日~金曜日 午前11時~午後6時
土・日曜日 午前11時~午後5時

街角で ほっとくさ トンネルの中は絵画館!? きみまち阪歩道トンネル



普段、何気なく通っていきみまち阪歩道トンネル。あらためて見ると、子どもたちが描いたと思う絵がいっぱい。これは、誰が書いたのだろうと調べてみると、ニツ井小児童だとのことでした。早速、当時の関係者にお話をうかがってみました。これはどうして描いたのですか?

7年くらい前になりますが、当時、このトンネルの壁には、イタズラ書き多く、消してもまた書かれたりしていました。どうせ消してもまた書かれるのだったら子どもたちに自由な発想で絵を書かせようと描いたものです。

絵を描くにどのくらいの期間がかかりましたか?
ニツ井小学校の親子レクで描いたものですが、児童80人、父母120人くらいで丸1日かかりました。この絵で何か問題があるそうですが?

描いてからかなりの時間が経過し、ペンキが垂れてきたのと、絵の上にイタズラ書きがあり、絵を消したらと言う声もあります。当時の子どもたちの聞いてみると「記念だから消さないで」との声が多数です。後2年で当時の子供も20歳になりますのでその記念に修復しようかなとも考えています。

ニツ井町民六年生
縁あって、このニツ井町に住んで丸五年。初めの印象は「どこでもある田舎町」しかし、その思いはすぐに別のもへと変化しました。特養よねしろに就職した私は、一年目はデイサービスに勤務し、バスで利用者の方々をお迎えに行くうちに、この町の隅から隅まで知ることとなりました。バスの中から私が感じたものは、美しく澄んだ米代川と、山の神々しさと、何となくも人のあたたかさでした。そしていつしか「なんて素敵なお町!」と思うようになりました。

私のお家はすぐ近所の山本町にあり、同じように自然に囲まれた町ですが、ニツ井町の自然の美しさには、心洗われる思いがします。中でも一番好きなのは、きみまち阪に咲き誇る桜の花。ようやくあたたかくなり始めた近頃、桜の季節がやってくるのが今から楽しみです。次の好きな場所は、晴れた日に桜つつみ公園から望むおだやかな米代川。堤防のベンチに座り、まつたりしていると、日頃のストレスなんてどこへやら。ニツ井町民六年生になった今、私が思うことは、この美しい町を次の世代まで残しておきたいということ。そのためにも、美しいものを美しいと思える心をなくさず過ごしたいと思っています。



田村由紀さん
(25歳・上山崎)

あなただけの
タツキ

▶297▶